

ガラスの王女クリスタ

2019年3月24日



企画 .. f u m
イラスト .. ござる様
シナリオ .. 水月堂様

目次

メインストーリー	1 Chapter1 出会い	2 Chapter2 森の奥の屋敷	3 Chapter3 舞踏会
短編集	4 フエラ責め	5 言葉責め	6 種付けプレス
	7 上品えっち	8 クリスタ じどめボイス集	

ナレーター

王子であるあなたの名の下に舞踏会が開かれた。
そこであなたはクリスタという美しい女性を見初め、
ダンスに誘う。

ひとしきり踊りを楽しんだ後、

彼女はあなたの手を引いて個室へと向かった……。

クリスタ

ああ、王子様……。
わたくしと踊つていただき、本当にありがとうございます。
噂通り、とっても優しくて素敵なお方……。

実は……

ずっと前に、町であなたをお見かけしたことがあるのです。
優しい笑顔を浮かべ、民に手を振るあなたを……。
その時から、一度だけでもお会いしたいと思つておりました。
ですがわたくしはただの女で、あなたは一国の王子……。
決して結ばれることはない。

それどころか、二度とお顔を見ることすらできない。
そう思つておりました……。

けれどもこうして、あなたさまに会えうことがでかい、
踊りに誘つていただけたなんて。

わたくし、天にも昇ってしまいそうな気分ですわ。

ああ、素敵な王子様。

どうかその愛らしいお顔を、もつと見せて下さいませ。
ああ……ああ……っ！

なんて穏やかなお顔をしているのでしよう。

優しく、温かな光をたたえた瞳……。

そのような目で見つめられてしまうと……

どうしようもなく身体の奥が疼いてしまいますわ……。

はあ……。

あなたさまとこうしてお話しすることができて、
とっても感激しております。

王子は……わたくしと共に過ごす時間を、
楽しいと思ってくださいるでしょうか？

……ああ、そんな……。

最高に幸せだなんて、わたくしにはもつたないお言葉。
光栄ですか、王子……。

(2秒間)

……あら？ 王子？

何をそんなにじつと見つめているのですか……？

まあ……わたくしの大きな胸に興味がおりなのですね。

うふふ……無理もありませんわね。

見たところ、このお城にはわたくしほど胸が大きい女性はないなご様子……。

ふふつ、良いのですよ。

どうぞお好きなだけ……

わたくしの下品なおっぱいを見つめてくださいませ。

……どうされました、王子？

まあ、痛いところがあるんですか？

一体どこが痛むのか、このクリスタに教えて下さいますか？

……おしつこを出すところ、ですか

ああ、王子のおちんちんが痛いんですね。

見せていただいてもよろしいですか？

衣摺れの音

あらあら、ずいぶんと腫れていて……。

これは、とても痛そうですね。

……えつ？今までおちんちんが腫れたことはなかつたのですか？

それでは……

わたくしの体で、初めておちんちんを腫らしてしまった、
ということですね。

ふふつ、うふふ……とても光栄ですわ……

ええ、これは決して病気でも恥ずかしいことでもないのですよ？

王子が大人の男性になるために必要なことなのです。

このおちんちんが腫れることで……：

お世継ぎを作ることができるようになるのですよ。
だから怖がることはありません。

ですが……ずっとこのままではお辛いでしょうね。

右耳で囁く（無音）

わたくしでよければ
王子のおちんちんを慰めてさしあげますが……
いかがでしょうか？

大丈夫ですよ、決して痛いことなどいたしません。

それどころか、身も心もとろけるような良い心地になりますわよ。

通常の位置に戻る

うふふ、その期待に満ちた目……とつても可愛い

不肖ながら……

このクリスタが、王子様にオナニーを教えてさしあげますわ。

（3秒間）

唇をそつと開けて下さいますか。

そうです、とつてもお上手……。では、失礼致します。
ちゅつ……んちゅつ、れろお、んぶちゅつ
んじゅるるるつ

つはあ、王子の、唾液、とつてもあまい……。
んちゅつ、やつぱり、高貴な、ちゅつ、お方の体液は……
つちゅるるつ、素晴らしいですわ……つ
あはつ、王子の小さな子どもおちんちんが……

どんどん大きくなつてゐるう……。

早くう、

大人のおちんちんになりたくつて仕方がないんですね……つ
んつはあつちゅつ、ちゅちゅつ、はん……。

王子のおちんちんにい、触つてみてもいいですかあ？

いいですよねえ？

つあつ。

もうこんなに硬くなつていらつしやるわ……。

大人顔負けの、立派なおちんちんになつてきていますね。

どうか恐れずに……わたくしに身を委ねて下さいませ。

この熱くて硬いおちんちんを、どうにか楽にしたいのでしよう？

その果てにある快樂を、その身体で感じたいのでしよう？

わたくしが全てあなたさまに教えて差し上げます。

城の教育係たちが教えてこなかつた、

あなたさまが眞の大人になるための秘密のお勉強を。

オナニーさえも知らず、

性欲というものが何かもわかつていらない無垢で純粹な王子……。

ああ、堪りませんわあ……。

んじゅつちゅるるるつじゅぶぶぶつ

王子の甘くて柔らかい舌……

本当にこのまま食べてしまおうかしら。

ふふつ、王子。

おちんちんが今にも爆発しそうになつてしましましたね。

先っぽの部分が赤くテラテラしていて……とつてもいやらしい。

では上下に擦りましようね……しこしこ、しこしこ

あははっ！気持ち良さそうな声え……。

良いのですよ、もつと素直に感情をさらけ出して……。
気持ちいいって感じていることを隠さないで……。

そうです、もつともつとエッチに、
いやらしく喘いでください……

ああ、ああ……

王子の蕩けた目と開いたお口が、とっても可愛い……。

これがオナニーというものですよ。

もしまだおちんちんが痛くなつた時は、

こうしておちんちんを握つて、上下にシコシコすれば良いのです。

もつと気持ちよくなりたいですか？

いいですよ。では。上着も脱いで……。

あら、とっても可愛らしい乳首。可憐な花のつぼみのよう……。
ここをいじいじすると、もつともつと気持ちよくなるのですよ。

ほら、こうやって、くりくりくりくり

あらっ、可愛らしい声が出てしましたね。

こんなところをくりくりされて

気持ちよくなつてしまふなんて、

王子には素質がありのようですね。

指で円を描くように、くりくり、さすさすと優しく撫でて、
乳首の先を転がして……。

左耳で囁く（無音）

……どうです、コリコリしてきたでしよう？

おちんちんと同じように、ビンビンに硬くなつていくでしよう？

これが気持ちいいってことですよ。

これまで一歩、大人に近づけましたね

右耳で囁く（無音）

快感の波がどんどん迫つてくるでしょう……？
その波を拒んではいけません。

喘いで、悶えて、体の奥から湧き上がる悦びを受け入れて……？
はあつゝ もつともつと、喘いでえ！

わたくしにあなたの痴態を見せてえ！

発情した獣のように、一心不乱に腰を振つてる姿を見せてえ！
かわいい乳首を弄られて、女の子みたいに悶えてえ！

通常の位置に戻る

そう！そうです！

びゅくびゅくとおちんちんの先っぽから何かを出したいでしよう、
怖がらないでください、それは気持ちいいことなのですから。
だから恐れず、おちんちんの疼きを解き放つてください。
腰がムズムズするでしよう、

乳首がムズムズして、お腹が熱いでしよう。

おちんちんから何か出したいでしよう。

ええ、出して、初めての精液を、

どうかクリスタの手の中で……！

わたくしに、あなたの熱くて蕩けてしまいそうな

初めての白濁淫乱種付け汁をかけてえ！

イつてください、わたくしの王子……！

(射精ポイント)

(5秒間)

ふふ……これでようやく、大人になれましたね。

おめでとうございます、王子……♡

(12時を知らせる鐘の音)

まあ！ もうこんな時間……。

もつと王子と共にいたいのですが……

わたくしはもう、帰らなければなりません。

ああ、愛しき王子様……

あなたとお会いできて、本当によかつた……きようならい。

(走り去っていく靴音。)

(カラーン、とガラスの靴が脱げて落ちていく音と共に
鐘の音がフェードアウト)

2. Chapter2 森の奥の屋敷

ナレーター

クリスタが去った後、あなたは必死に彼女を探した。

そして深い森の奥の古びた屋敷で、ついに彼女を発見する。

あなたは彼女の前に跪き、その美しい足にガラスの靴を履かせた。

熱い視線がまじわって、一人は激しく抱きしめあつた。

そしてクリスタはあなたの手を引きいて寝室へと招き入れた……

クリスタ

ああ……また「ハ」して王子と触れ合えるなんて……。

もう一度とお会いするにはできないと思つておりました。

あの時の逢瀬（おうせ）は美しい思い出に変わり、

その思いを抱いたまま生涯一人で生きていくのだ……。

けれども、

まさか王子自らわたくしの元へ会いに来てくださるなんて！

まるで夢のよう……。

けれども……ずいぶんな長旅でしたでしよう？

わたくしのグッズで申し訳ありませんが、

しばしお体を休めてくださいませ。

さあ、どうぞ」ちらり。

（グッズのシーツが擦れる音）

(スプリングが軋む音)

……あら？ 王子……。

右耳で囁く（無音）

（囁き混じりに）「……」

おちんちんがとつても腫れていらっしやるわ。

通常の位置に戻る

ふふ……顔が真っ赤……。

わたくしがいない間も、

教えて差し上げたオナニーをなさったのですか？

良いんですよ、たくさんして。

気持ちよくなることは、悪いことではないのですから……。

それに……おちんちんが腫れてしまうのは、いやらしい気持ちになつた時だけではないのですよ。

たとえば……そう、こうして王子がお疲れになつた時にも、おちんちんが腫れてしまうこともあるのです。

ですから、わたくしがマッサージをして差し上げますね。足も背中も、すっかり強張っていますし……。

特にこのあたりが……

つつー。

びっくりしましたか？ 急に背中を指でなぞられて。

ふふ、とっても可愛らしい王子……。

さて、王子の体のどこがお疲れか、

今までつかり把握できましたわ。

え？ まるで魔法みたいだ、ですって？

ふふつ、そうですよ。

わたくしは不思議な力が使えてしまふんです。

この力で、王子の身も心も、すべて癒して差し上げますわ。

では王子、お手数ですがこの下着を着けてくださいますか？

少し透けていて、恥ずかしいかもしませんが……。

マッサージのオイルを浸透させるためには、これくらい薄い方が

いいのです。

ですから、少しだけ我慢してくださいね？

(きゅぽん、とオイルの蓋を捻り開ける音)

このオイルを全身に塗り付ければ、
身体のコリをほぐし、心を落ち着かせることができます。

(2秒間)

さあて……早速つけさせて頂きますね。

(ぶちゅつぬりゅうというオイルが滑る音)

(以降、継続的にぬりゅにゅるというような音が聞こえている)

まあ、本当に凝つていらつしやるわ。

やはり王子という立場は、心労もたくさんあるのでしょうか。
けれども今はひたすら、わたくしの手と身体でマッサージされる
快感を、享受してくださればいいのですよ。

ふふ、背中も少しずつ柔らかくなっていますね、

でもまだまだ硬い……。

僭越(せんえつ)ながら、このわたくしの胸で、
特別なマッサージをさせていただいてもよろしいでしょうか?
あなたさまが以前じつと見ていたこの大きな胸……
全身で堪能してください。

んんっ

王子の背中にわたくしの乳首が擦れて、
とつても気持ちがいい……つ。

はあっ、でもいけませんわ、

王子を気持ちよくして差し上げないと……。

左耳で囁く（無音）

んう。王子もずいぶん蕩けた顔をされていて……
とつても気持ちよさそうですわね。
口を大きく開いて、よだれをとろとろ垂らして……
もうすっかりマッサージの虜ですね。

通常の位置に戻る

はあん……。

おちんちんも今までにないくらい勃起していらっしゃるわ……。

王子の勃起おちんちんを見ていたら……

わたくしの淫乱おまんこが疼いてしまいました……。

早くおまんこの中に、王子のおちんちんを入れたくって、

おかしくなつてしまいそうなのです。

王子もわたくしの中に入れてしまいたいですよね?

何のことかよくわからない?

わたくしのこ……見てくださいますか？

すごく濡れていて、ぬるぬるしているでしょ？

このびらびらしたところを、

こうやつてくぱあつて開いて……んんっ

この奥に、あなたさまの硬くなつたおちんちんを入れて、

動かすんです。

そうしたら、わたくしもあなたさまも、
気持ちよくなれるのですよ。

ああ、もう、すっかり蕩けた目をして物欲しそうに
わたくしの淫乱びしょ濡れおまんこを見る……。
わたくし、我慢できませんわ！

(ぶじゅっと一気に咥え込む音)

んっはあああああんっ

王子のおちんちん、入ったあ……。

どうです、王子……わたくしのおまんこの中は……。

うねつて、締まって、とっても気持ちいいでしょ？

あはっ、もう早速イッてしまわれたの……？

けどそれだけでは我慢できないでしょ？

もっと気持ちよくなりましょ？

んんんっ　おほっ　はあつはあああつ

王子のおちんちんがわたくしのおまんこの奥に
ぐりぐり当たつて気持ち良すぎますわあつ

このまま王子は身を委ねてつ

わたくしのおまんこのなかに飲み込まれていればいいのつ

あはあつはあつはあんつ

王子のガチガチおちんちん、中でどんどん大きくなつていくつ
またイきますか？

いいですよ！

もつともつとわたくしのおまんこに子種汁を出してつ
ああつおちんぽ汁びゅくびゅくだしてつああつら

(射精ポイント)

つはあ、王子の精液、わたくしのお腹の中に広がつてゐう……。
でもわたくしい……

まだイつておりませんのおつ！

だからもう少しだけ、お付き合いくださいね？ウフフフフツ！
王子のおちんちんもお、まだまだ硬いですしい……、

ほらあつ。

おまんこにすりつけるだけでイきそうですかあ？

いいですよ、

おまんこの奥に出さなくとも、吐き出していいんですよお。

ほら、すりすり、じゅぶじゅぶ

おまんこの外側も、ぬるぬるで気持ちいでしよう？

わたくしのおまんこでオナニーして、

もう一回イツてくださいねえ

……ふふ、たあつぱり出してしまいましたね……

でも、わたくしも気持ちよくなりたいですか、らつら

(一気に腰を下ろしぶちゅんつという音がする)

(より一層激しい水音)

(パンパンという激しく腰を打ち付ける音)

はあんつら

あああんつ

王子のおちんちん気持ちいいいっつ！

わたくしのおまんこの中でびゅくびゅくしてつ！

またおちんぽからミルク出したいって騒いでるううう
もつと！ もつと頂戴！

……おほおおつ！ おおおおおおおおおおおおつ！

赤ちゃんの素がつ

王子の可愛いキンタマから運ばれてきてるうつ！

わたくしを孕ませようとして暴れてるう△

まるで獣つ△

獣みたいに交尾してるううううううううううううううううつ△

ああはああつ△

王子い、獣のパパになつて△

このままああああ！ 一番濃い精液を出してつ！

あああつイつイグううううううつ！ ！ ！ ！

（射精ポイント）

……つはあ、

ああ……王子、気を失つて、しまいましたか……？

ふふ、でも、気持ちよかつたでしよう？

（5秒間）

（朝が来た。小鳥のさえずりが聞こえる）

おはようございます、王子。よく眠れましたか？

……あの、王子。

わたくし、あの後ずっと考えておりました。

わたくしのようなものが

こんなことを思つてはならないのかもれませんが……。

どうか、わたくしと結婚してくださいませんか？

以前からわたくしは……

あなたさまをお慕いしております。

だからこそ、ずっとそばにいたいのです。

わたくしのようないやらしい女は、お嫌いですか……？

(3秒間)

……本当に、よいのですか？

本当にわたくしと結婚してくださると？

(喜色を露わにした声で)

まあ……っ！嬉しいです……！

ありがとうございます。愛していますわ……王子。

(ちゅうとうリップ音)

では明日の夜、舞踏会を開きませんか？

お城や国の皆様に、結婚の報告をしなければ。

ええ、もちろん一番美しい格好で参りますわ。

あなたの妻として恥ずかしくないよう……

一番、美しい格好で、ね。

ナレーター

ついに舞踏会が開かれた。
王子の前に現れたクリスタは、
美しくも淫靡なドレスを纏っていた。
だが、その姿を見た王子や人々は、
彼女から発せられる謎の力によつて
動かなくなってしまう……。

クリスタ

ああ……王子、御機嫌よう。そして皆様も。
わたくしは王子の妻になります……。
サキュバスの末裔の、クリスタと申します。
以後お見知り置きを……。
わたくし、ずっとずっと王子のことと愛しておりましたので、
どうすればわたくしのものにできるか、
毎日毎日考えておりました。
そうしたら……。

王子もまた、わたくしを愛してくれて……。
妻として選んでくださいました。
そのうえ、こんなにもたくさんの方に
結婚を祝福していただけるなんて……。
わたくしは本当に、世界で一番の幸せ者ですわ……。

うふふ、皆様とも驚かれていたみたいですね。

まさか万民に愛された王子の妻が、

こんな淫らで不埒な、妖魔の末裔だなんて……。

あらあら……いくら抵抗しようとも無駄ですよ。

わたくしの瞳はどんな生物でも魅了することができます。

わたくしを一日見た者は、

決して自分の意志で動くことはできませんわ。

左耳で囁く（無音）

うふつ、うふふふ……！

ああ、王子……とっても愛らしいひと……。

わたくしがサキュバスの末裔でも、愛してくださいますか？

……ふふ、そう言つてくださいると信じていましたわ。

わたくしも、未来永劫あなたを愛すると誓いますわ……。

通常の位置に戻る

さあさま、皆様。

どうかわたくしたち夫婦の踊りをご覧になつてくださいませ。

サキュバスと人が獣のように交わるその様は……

きながら踊りのようですからね。

王子、お洋服を脱がせてあげますわね。

あなたさまも身体が動かないでしようから……

ええ、いつものように、わたくしに全てお任せくださいませ。まずは上から……ふふ、もう乳首が硬くなっていますよ。

早く触れてほしいと、興奮しているのですね。

では、あなたのご期待通り……

れろつれろろろつちゅるんつじゅふつ

王子の乳首がわたくしの口の中で
どんどん硬くなっていますわ……
んちゅつちゅふちゅふちゅぽんつ。

次はわたくしの、きちんと手入れして紅を塗った爪で、
くりくり弄りましようね。
くりくり、こすこす。
うふふ、気持ち良さそうな声……。
お父様やお母様の前で、そんなはしたない声を出して……
本当に王子はえっちなんですから。

右耳で囁く（無音）

おちんちんもすっかり硬くなっていますね……。
服の上からすりすりしても、熱さと硬さがわかりますわ。
こつちも乳首と一緒にすりすりしましようね。
すりすり、すりすり、おちんちんの先っぽをぐりぐりつぶ
頭が真っ白になってしまってどう?
直接おちんちんの先っぽを弄られたら……。
どうなつてしまふのかしらあ。

通常の位置に戻る

さあ王子、下も全部ぬぎぬぎしますよ……。
あはつ、凄い勢いでおちんちんが飛び出してきたあ
でもまだ触つてあげません……後ろを向いてくださいな、王子。
お尻の穴がわたくしからすっかり見えてますよ……
ヒクヒクしていく、可愛らしいですこと。
ふふつ、ここは排泄するためだけの場所じゃないんですよ

ここに、わたくしの舌を入れますよ……。

大丈夫ですよ、汚くなんかありません。

王子はわたくしが与える快感に

身を委ねてくださるだけでいいのです。

はあ……つゞ んちゅつにゆるるるつぱちゅちゅつ。

んぶあ、素敵なアナルう……。

わたくしのおまんこ、びしょびしょに濡れてしましますわつ。

もつと奥までわたくしの舌を入れますね。

んじゅじゅじゅつじゅつぽんつれるるるつ

じゅぶんつじゅぞぞつ

おちんちんを触られる時とは

違う気持ち良さがあるでしよう……？

アナルがヒクヒクしてだんだん性器としての自覚を持ち始めたようですね。

では、わたくしの指もあなたの生まれたての性器へお邪魔しますね。

右耳で囁く（無音）

はあい……ぬふぬふ入つていつてますよ
気持ちいいでしよう、

もつと大きな声を出していいんですからね
ぬふぬふ、くちゅくちゅ

まずはわたくしの指の形を覚えてくださいね。

わたくしの指があなたの小さな前立腺を擦つて……
あはつ。今日の一番気持ちよさそうな声つ

まるで少女のよう……もつと激しく動かしてしまいますね。

はあい、ぬっふぬっふ　ぐちゅぐちゅぐりゅぐりゅ
女の子になつてくださいませ、王子♂

もつともつとわたくしを感じてください、そして快感に溺れて。

[通常の位置に戻る](#)

……でもまだイかせてあげませんわ♂

王子の精液は、すべてわたくしのおまんこが頂きます。

何もかも飲み込んで……あなたはわたくしのモノになるのです。

さあ、王子。

わたくしが動いて差し上げます、横になつて……。

皆様もどうぞご覧になつてくださいませ。

わたくしと王子の婚姻生ハメセックスを！

可愛い王子が、サキュバスに騎乗位されて

よがり狂うその姿を、目を覆わずに見てください！

(じゅぶぶぶ、という激しい淫らな水音)

(以下、水音と腰を打ち付ける音が聞こえる)

んつんはああああんつん♂

王子のガチガチちんぽおおおおつ♂

おまんこの中で爆発しそうなくらいギンギンで気持ちイイ♂

んつんんううつおほほおおんつ♂

はあつ、あはああんつ！

王子つ王子いいつ！わたくしの愛した可愛いひと、可愛い王子、

あはあんつ♂

わたくしのおまんこはきもちいいですかあつ？

ぬるぬるでぐちゅぐちゅのおまんこの中溶けてしまいそうですか？

ああ……このまま溶かしてしまいたい……。

わたくしの中に溶けて……

そのまま溺れてしまえばいいのに……つ。

はあつ、ああんつ△

王子、唇を突き出してつ、そう、お上手△

んつじゅるるるるつれるおお、んじゅるるるぶちゅつ△

王子のあまい舌……

とつても柔らかくつて食べててしまいたい……△

れろろろろろつじゅぶんつじゅぶぶつじゅぞぞぞつ△

はあつ、あはああつ、んつほおおおつ△

このまま王子をデイルドのようにしてつ！

道具のように扱つてつ！イキたいつ△

はあ、王子つ！気持ちイイつ！

おほおおんつんはあつははあ△

このまま二人で、一緒に行きましようつ△

すべて解き放つて……どこまでもイつてしまいましょ△

……おおつ！んほおおおおおおつ△

イぐうううううううううううう△

(射精ポイント)

王子のギンギンオチンポからいっぱい精液が出てりゅうううう△

子宮が降りてつ赤ちゃん孕んじやううう△

はあつイつてる、王子も、わたくしも、なにもかも……△

(5秒間)

はあ、は……ああ、王子……。

やつと手に入れた。

これで、身も心もすべてわたくしのもの……。

ああ、わたくしの愛しい王子……。

これからずっとずっと……一緒にですよ。

(軽いリップ音)

ふふ、愛しています、わたくしだけの、王子……。

クリスタ

左耳で囁く（無音）

うふふ、王子……。

もうずいぶんおちんちんが痛いでしょう？

一ヶ月オナニー禁止などと、酷なことを申し上げましたが……。
すべてはあなたをもつともつと

気持ちよくして差し上げるためです。

よおく我慢できましたね。いい子いい子ですねえ。
約束通り、これから最高に悦ばせちゃいますからね。

右耳で囁く（無音）

その前に……このお薬を飲んでくださいますか？

これはわたくしが調合した魔法のアイテム……。

王子のおちんちんをもつと大きくして、

何度も射精できるようになる素敵な薬ですわ。
さあさあ、一滴も残さずに飲み干してください。

通常の位置に戻る

……うふふ、どうですか？

おちんちんがはちきれそうになつてきましたでしょう？
溜めに溜めた性欲を、

すべてクリスタのお口にぶちまけてくださいね。

さあて、久方ぶりのおちんちんとご対面……。

あはつ、普段のおちんちんの何倍もの大きさになつていますわ。なんてご立派……。

いつもの奥ゆかしいおちんちんも素敵ですが、

この怪物みたいにいきり勃つたおちんちんも素敵……。では早速……。

ちゅつぶちゅつは、亀頭が熱くてギンギンで……。

先走りも濃厚でくらくらしますわ。

裏筋も……れろおつ、れろろろろつぱは、ぶじゅつ。

極悪おちんぽ、全部咥えこんでしまいますね。

あーん、んむつんぐつぶちゅるるるるるつ

じゅぞぞぞぞぞつじゅるるるつ

れろお、

はあ、王子の精液を作るキンタマも大きくなつていて……。

やわやわ、ふにふにくすぐつたいですか？

じやあ、これはいかがですか？

あむつちゅぶんつちゅうちゅう……

れろつれろおおつじゅつじゅぶつ。

キンタマしやぶられるのも気持ちいんですね。

変態なんですから。

さあて……ではキンタマをくにくに触りながら

竿の方もおしゃぶりますよ。

あはつ、じゅぶつじゅるるつじゅぞぞぞ

つじゅぼぼじゅつぶつ

はあつ△はあつ△

王子の極悪モンスターインポがもつと大きくなつてくつ△
キンタマがドロドロザーメンをもてあましてつ△

早く出したいつて震えてるつ△

じゅぶぶぶつじゅぞれろろろんれろおつ

はあ、ああ、精液の匂いがしますつ。

そのままいくんですねつ。

わたくしに口だけで責められて、犯されてつ△

そのまま無様にイツてくださいつ△

んじゅじゅじゅじゅぞおおつ△

どうぞイつてくださいませつ△

(射精ポイント)
(3秒間)

……気持ちよかつたですか？でもまだギンギン…………

ふふつ、いいですよお△

あなたが満足するまで、そしてわたくしの
気持ちがすむまで……。

何度もお付き合いしますからね△

クリスタ

どうしました、王子？

今日はいつもとは違ったセックスがしたい、ですか……。

……わかりました。

それでは、このようなプレイはいかかでしようか。

(3秒間)

うふふつ……王族のくせに淫らなことがだい好きでえ……。

わたくしのような妖魔に骨抜きにされてえ、

恥ずかしくないのでですかあ？

さあ、そこで跪いてください。

あなたは可愛いクソ豚ちゃん……。

性欲で頭がいっぱいの、スケベで無様で不埒なケダモノ。

そのようなものがわたくしと同じ目線にいて

言いわけがないでしよう？

ほら、すぐにひざまずいて。

(3秒間)

右耳で囁く（無音）

……ねえ、子豚ちゃん。

あなたは民を導く立場でありながらあ……。
淫らな行為に耽り、

快感をむさぼるだけの変態絶倫男ですよねえ？

恥ずかしくないですかあ？

このお……へ・ん・た・い・さ・ん。

こんなに罵られてるのに、息を荒くして……
もう、どうしようもない子ですねえ。

ううん……

どうすればあなたは王族としての自覚を取り戻せるんですかあ？
ねえ、ねえ？

通常の位置に戻る

……あ～っ、やつぱり無理かなあ。

豚ちやんはあ、

生まれながらにして真性のド変態クソ王子ですからねえ。

私い、知つているんですよ。

豚ちやんがあ、表敬訪問にきた隣国の姫のパンツを盗んでえ……。
それを穿いてオナニーしていたことつ。
ウフフフツ！

本当にどうしようもない子おつ！

私というものがありながらあ、

ヨソのお姫様にまで欲情しちやうなんてつ。

左耳で囁く（無音）

……おやあ？ ねえ、なんで興奮してるの？
なんで汚いちんぽを硬くさせてるの？
ねえ、なんで？ なんで？
……もう救いようがないくらいの変態ですねえ、
このドMの豚ちやんはあ……。

通常の位置に戻る

こんな子を人間として扱っちゃ、
眞面目に生きてる人達に失礼です。
下等生物としてえ！

四足歩行してえ！メスの匂いですぐ発情してえ！

腰をヘコヘコ動かすだけの性欲モンスターになりましょうねえ！
ほら、ヘコヘコしてつ！腰を振つて！

そのきつたねえ精液吐き出してくださいつ。

罵倒されて興奮してえ！

バキバキに腫れてるきつたないちんぽから精液出してつ！

ほら、早く！

憐れにブヒブヒ鳴きながらイつて！

この王国を滅ぼす性欲絶倫クソ豚ちゃん！

イつてつ！イつてつ！イキ狂ええええええええええ！

(射精ポイント)

……ウフフっ！ようやくイきましたか。

とっても素敵でしたよ、わたしの子豚ちゃん。

クリスタ

はあはあ……王子……。

もう、随分とご立派になられて……。

おちんちんを大きくする薬がしつかり効いていますね。

元のおちんちんが、

どんな形か分からなくなるくらい、下品に大きくなつて……。

いいえ、これはおちんちんなどという可愛い呼び方ではなくつて、おちんぽ様と呼んでもいいくらいですわね。

はあ……

右耳で囁く（無音）

王子のおちんぽ様、

快樂を追い求めることを辞めないとつても素敵。

あなたの逆の肉欲を、すべてわたくしにぶつけてください……。

通常の位置に戻る

きやつゝ いきなり乱暴にまんぐり返しをして……。

そんなにわたくしのおまんこが見たいのですか？

はあ……つ、わたくしのびちよびちよおまんこが

丸見えですわ……。

ああん、そんなにじっくり見ないでくださいませ。

そんな肉食獣のような目で。

貪るみたいに見つめないで。

わたくしのおまんこから、

どんどん愛液が溢れてしまします……。ふう、触られてもいないので、このままイつてしまいそう。

でも……わたくし、あなたのおちんぽ様でイきたいですわ。ガチガチのおちんぽでかき回されて、どろどろになつてイキ狂いたいんですけどからそのまま、一思いにわたくしの中に……。

……あら？ 繩を取り出してどうなさるのかしら？

……あはっ、このいやらしい体勢のまま縛るのですね。あつああん。

縄がわたくしの体をきつく締め付けて……。
はあん、気持ちいい……。

(突如挿入する音、以降激しい水音)

つ！？ ああああああああああああああああ！

い、いきなり入れられて、イつてしまいまし、あつあああああつ
激しいつ。おほおおおおつ。

そんなつ。種付けするようにつ。じゅぼじゅぼ貫いちやだめつ
おつ。おつ。おおおおおおつ。

じゅぶじゅぶ貫かれてつ。おちんぽ様に種付けされてつ。
このままママになつちゃううう。

いくつ〇 いぐうつ〇 いつ、きゅう〇 いくいくいくいくう〇

おほほほおおおお〇 いぐうううううつ！！！

アクメキメちやうううううつ

イグうううううつ！！！！

(射精ポイント)

あつ、あはあ……しゅゞおい……
せーえき、びゅくびゅくつて……。

はひいつ！？

はにや、はにやフツク、しないれ、くらさい……。

ほごおつ〇 豚がつ、豚ごときが〇
人間の言葉、つかつちやらめつ〇

ごめんらしやいつ、ブヒイつブヒイいつ〇

はひい〇 クリスタはあつ〇 えつちな雌豚れすうつ〇
王子様のおちんぽ突つ込まれるだけが取り柄の、

あわれなエロ豚れすう〇

ブヒイつ〇 ふぐうつ〇

めすぶらのつ、がばがばおまんこをお、

もつと、おちんぱしやまれ、躊けてくらさいつ〇

クリスタ

王子……眠れないのですか？

わたくしが隣にいるから、ドキドキして眠れない……ですって？

あらあら……もう結婚してずいぶん経ちますのに。

まだ共寝をすることに慣れていらっしゃらないの？

うふふ、可愛いひと……そんなウブなところも、とっても好き。ではわたくしが、眠れるおまじないを教えて差し上げましょう。さあ、目を閉じて……少し唇を開いて……そうです、

ふうーっ……ちゅつ。

うふふ、びっくりしましたか？

ちゅつちゅうつ、ぷちゅ……。

ふふ、たまにはこんな、少年少女のようなキスも

気持ちいいですね。

ちゅつんちゅつちゅっふ。

はあ、体が疲れ切つていないから、眠るのも大変なのですよ。だから、こうやつて、ベッドの中でセックスして、

気持ちよくなりましょう？

そうすればきっと、柔らかな眠りが

あなたを連れて行つてくれるはずですよ。

んちゅつちゅう、ちゅるる……。

体から力を、抜いてください。

そう、お上手……。

そうしたら、舌もとつても柔らかくなつて……
もつと気持ちよくなれますよ。

ちゅつちゅふつちゅるるつれろお。

ふふ、王子のおちんちんも反応していらつしやるわ……。

右耳で囁く（無音）

はあい、こすこす、しゅっしゅ。
上下にしごいて、

時々亀頭の周りをくるくるして、先っぽをつんつんして……。

ふふふ、可愛らしいお声……どんどん、出してくださいませ。
しゅっしゅ、しこしこ

どんどん気持ちよくなつてくださいませ。

愛しいあなた……。

わたくしにも、触ってくださいませ……。

わたくしの下品で大きな胸を……はんつゝいきなり乳首を掴む
のはダメですよ。

ゆつくりこすこすしてください、田を描くように……そう、上手
ですわ。

通常の位置に戻る

はあ、ああ……

おまんこが、むずむずして仕方がありませんわ……。

王子、わたくしのはしたないおまんこも、
触つていただけませんか？

(水音)

はあんつ、はあつ、きもち、気持ちいいです……うわ
王子のえつちな指の動き……どつても気持ちが良いです
はあつはあつ、あはあ、はああ……うわ

ああ、
王子、王子……つ。

わたくし、もう我慢できませんわ。

どうか
わたくしのおまんこの中に……

(じゅふふふつという音)

王子のおちんちんを入れられた
簡単にイッてしましましたわ。

はあ、そのまま、動かして……

まか、三三、三二、〇〇

きす、キスしてつぶだせいいの

ちゅつむちゅつはあ、はあつ

きもちつつきもちいいですうひ

ふたりでいっしょにイきましょう？

イニシエーション

王子、あいして、愛してますわっ！

いくついつちやううつ

(射精ポイント)

(3秒間)

……寝て、しまわれましたね。

まるで、初めて出会った日のよう。

ああ、王子、わたくしの愛する旦那様。

このまま、どうか永遠（とわ）に、そばにいさせてくださいね？

パターン①

ふふ、王子、もうイきたくてたまらない、という表情ですね。
イきたくてイきたくてえ……

おかしくなつてしまいそうですかあ？
ああ……そんなお顔もどつても素敵。

ですが……あまりに我慢させすぎるのは体に毒というもの……。
いいですよ、我慢せずにイつてく・だ・き・い
さあ、イつてくださいな。

パターン②

イきたいですか？

でもダメです、まだイかせてあげません。

泣いて許しを請うたら、考えてあげますよ。

……あら、そんな簡単に頭を下げてしまわれるの？
ざあんねん。

でもそれだけ我慢できないつてことですね。

仕方がありません、いくのを許可してあげますよ
どうぞ、イつて。

パターン③

なにイきたいたんだなんて贅沢なことを言つてゐるんですかあ？

豚以下の生物ごときが、イクのを許可して貰えるとでもお？

ウフフっ！あまりにも傲慢ですねえ……。

人のようにい……イくだなんていう綺麗な言葉あ。

使つてはいけません。

クソ豚ちゃんはあ……。

これからいくではなくイかせていただくという自覚を持つてくださいね。

ああっ！かわいいっ！そうそう！その顔お！たまらなあい！

ほらあゝ イかせて貰えるのですから鳴いてくださいな。

ブヒブヒ鳴いて、醜い射精を見てもらいなさい。

ほら、いつちやえつ！

パターン④

「ああ王子……そんなに汗をかいてどうされたのですか？
イきたいのですか？」

そのままおちんちんから精液を出したいのですね？
うふふ、いいですよ。

わたくしの口でも、おっぱいの中でも、

おまんこの中にでも出してくださいって構いませんよ。
では、あなたが望むところに

あなたの熱い精液をぶつかけてくださいませ。

パターン⑤

あつゝ はあんつゝ

王子つ王子いつ

好きですつ、愛していますつ

えいわしうつむなぐ好きなんだすへ〇
だからあいせに出しゃへー。

そして一緒にイツでくわせこなつ〇
好きの好きひこへしめん、イハのイヤハハハハ〇

バターへ⑥

そらやねの12時の鐘が鳴りあすねへ〇
このまま一人で、一緒に行きあしょつへ〇
すぐて解き放つて……えいり井のやへいとー井のこ井のめへ〇

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 ……

(12時を告げる鐘の音)

んはおおおおおおおい〇〇
イイイイイイイイイイイイイイイイイイ〇〇